

1.川崎町社会福祉協議会【防災・ふくし教育プログラム】

「いのちとくらしを守る学習プログラム」

町内の学校や地域で実践できる防災・ふくし教育プログラムを紹介します！！

①防災ピンゴゲーム（日頃の備え）所要時間 45分～60分

防災用品の勉強を兼ねたゲームです。はじめにグループにわかれその中で家族を作ります。各グループの代表者がじゃんけんを行い、勝った人が防災用品の描いてあるカードを1枚引きます。全種類のカードが揃ったグループの勝ち！というゲームです。最後にグループごとに手持ちのカードを確認し、不足している用品・必要以上にある用品は何かを話し合い、グループ同士協力することの必要性を説明します。(中高学年向け)



②非常持ち出し袋の中身はどんなもの？所要時間 15分



非常持ち出し袋の中身はどんな物が入っているのか？一人暮らし高齢者の方を対象に配布している非常持出袋の中身と必要性について説明します。みなさんの自宅では非常持ち出し袋は準備されているか、人数分あるか、賞味期限は切れていないかを確認してもらうように説明します。(全学年向け)

③非常食試食体験 所要時間 60分～90分

その名のとおり、実際に非常食を作り試食していただきます。非常食に関するクイズを出したり説明を行いながら、非常食についての知識を深めていただきます。(全学年向け)



④KYT（危険予知トレーニング）所要時間 45分～90分

普段何にも気にせずに生活・活動している場所が、災害発生時に思いもよらない危険な場所に変わることがあります。そんな身近な場所に潜む「危険」を予知・回避する力を育み、事故防止につなげていくことを目的としてトレーニングします。（全学年向け）



⑤避難所体験 所要時間 90分～120分

災害発生時、避難所に避難が必要な状況になることもありますが、避難所には必要最低限な物しかなく、長期化する事によって避難所での生活が大変になっていきます。避難所では、みんなで協力しあい生活が出来るかと一緒に考えながら体験を通して学んでいきます。



【避難所にベッドを作ろう】

段ボールを組み合わせる事により、簡易的ですが横になってもつぶれない強度を保つベッドを作る事ができます。ついたてや目隠しなどその場所や状況に対応できるのも段ボールベッドの強みです。避難所でも実際に活用されています。（中高学年向け）

【ちょっとした工夫で出来るアイディアグッズ】

新聞紙を使って、簡易的なスリッパを作る事ができます。

新聞紙2枚あれば1セット作成する事ができます。

その他、マスクやコップなど災害時に活用できる道具を、ちょっとした工夫で作る事ができる方法を学ぶ事ができます。（全学年）



マスク



お皿



スリッパ



コップ

⑥バーチャルマップ作り(ご近所での支えあい) 所要時間 60分~90分



グループごとに仮想の街の住人になりきってもらいます。その町に大雨が降り続き、時間の経過とともに状況の悪化が予想される設定の中、どうすれば問題解決できるのかを地図に書き込みながら考えてもらうワークです。PowerPoint を活用しながら進めています。(高学年向け)

⑦サバメシ作り 所要時間 60分~90分

限られた食材や調理方法で簡単に作る事のできる料理をサバイバルめしと言います。アウトドアでも活用されています。限られた食品の中から自分で組み合わせを考えて作るため、判断力や実行力を養う事ができます。
(中・高学年向け)



⑧防災福祉マップづくり 所要時間 90分~120分



災害時において、地域の中に要支援者や要援護者などの福祉課題がある方への声掛けや避難誘導についてどのように行動すべきかをマップを作成し学んでいきます。自分の地域でどこが危険か、避難所までの安全ルートの確認など地域を理解し、自分たちに出来ること・地域での気づきを促すことを目的にグループワークをしながら一緒に学んでいきます。(高学年向け)

⑨防災クッキング 所要時間 90分~120分

災害時には、あらゆるものが貴重となり、特に水に関しては断水となる事が多くあります。一つの鍋で、たくさんの料理を作る事ができる防災クッキングは、断水時や水不足等で節水が必要な時、大いに役立ちます。災害時における調理方法として学びます。(高学年向け)



⑩災害についての説明 所要時間 30 分～60 分



防災の話はよく耳にするけれど、そもそも災害にはどんな種類があってその原因は何か?など、災害を引き起こす天気の話や災害の種類、災害に伴う避難情報等について説明していきます。(全学年)

PowerPoint を使用します。

⑪被災体験話 所要時間 60 分くらい

東日本大震災で被災、避難した体験について話します。災害の怖さなどを改めて確認しながら、当たり前に生活していることが何より幸せなことだということを伝える講話です。

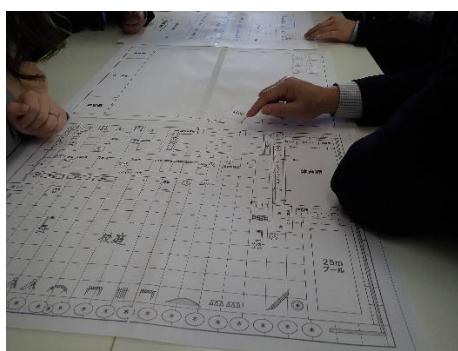
PowerPoint を使用します。(中高学年向け)



⑫HUG（避難所運営ゲーム）体験所要時間 30～60 分くらい

災害が発生すれば避難所が開設されます。

HUG 体験は避難所を運営する立場になり、仮想の避難者を受け入れていくゲームになります。世帯数や状況がそれぞれ違うので、どこに配置するか、またイベントも発生するため、瞬時の対応が必要になるゲームです。



※組み合わせや時間配分の調整・アレンジもできますので、ご相談いただければと思います。